

## 当院循環器科外来患者におけるダパグリフロジンの initial dip の傾向に関する調査

2020年2月から2022年7月までに当院循環器科外来でダパグリフロジンを処方された患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「当院循環器科外来患者におけるダパグリフロジンの initial dip の傾向に関する調査」という研究を行います。この研究は、2020年2月1日より2022年7月31日までに東京労災病院循環器科にて、初めてダパグリフロジンを処方された患者さんの腎機能の変化を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：当院循環器科外来患者におけるダパグリフロジンの initial dip の傾向に関する調査  
研究期間：2025年6月19日～2026年12月31日  
研究責任者：東京労災病院 薬剤部 高山 泉

### (2) 研究の意義、目的について

ダパグリフロジンは心不全患者の標準的治療薬の一つとして位置づけられています。一方で、投与初期に一時的な推算糸球体濾過量 (eGFR) の低下 (initial dip) を生じる可能性があります。そこで本研究では、ダパグリフロジンによる eGFR 変化を明らかにすることを目的とし、その結果ダパグリフロジン投与後の腎機能を正しく評価することで、適切な治療継続の判断を行うことができる可能性があります。

### (3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2020年2月1日より2022年7月31日までに東京労災病院循環器科にて、ダパグリフロジンの処方歴1年以上、処方開始前、処方後3か月時、12か月時に eGFR 測定されている外来患者を解析し、腎機能の変化について検討を行います。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。  
試料：血液  
情報：年齢、性別、体重、eGFR、AST、ALT、Hb、Ht、処方歴

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。データは、個人を特定できないように記号化した番号で管理します。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。患者さん・ご家族から、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄します。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 薬剤部 高山 泉  
〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21  
電話番号：03-3742-7301 (代表) 内線：3123  
メールアドレス：izumitakayama083@gmail.com